

【事務事業調査】

事務事業名	働く場確保事業費			予算科目 コード	会計-款-項-目-事業 001-03-01-03-000301070
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当 係長	高齢者・介護係 吉業 恵子	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

		何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	H23 事後 評価	就業実績等について定期的に報告を受け、状況を把握するとともに、新たな就業機会の開拓のための広報等を行い、活性化を図りました。	少子高齢化が伸展するなか、高齢者自身が生涯現役でできる限り健康で自立した生活を送るため、地域でともに働き、ともに助け合うことが大きな力になります。 地域のために働くという社会貢献をしながら、自分自身の収入にも繋げることができ、生活の意欲を高めることに繋がります。
	H25 事前 評価	シルバー人材センターの助成及び指導育成を継続して行います。会員の増加や就業機会の開拓を促進するため、イメージアップや就業職種の開拓等を推進し、活性化を図ります。	
実績			

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
シルバー人材センター会員数	200人		平成23年度末現在会員数 170人

■事業費(計画)

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	補助金	7,100	国のシルバー人材センター事業補助額と同額
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		7,100	

■事業費(実績)

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	7,100		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	7,100		

■補助金等名:シルバー人材センター補助金(交付金)

■補助事業者等:シルバー人材センター

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	4	高齢者自身が生涯現役で、できる限り健康で自立した生活をおくるため、「地域のために働く」という社会貢献をしながら収入を得ることができることで生活意欲の高揚になり、またそれを支える地域全体の活性化にも繋がると思われます。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	5	高齢化の急速な進展のなかで、高齢者のライフスタイルも多様化しています。 誰もが社会の一員として尊重され、それぞれの役割を積極的に果たすことができる活力ある社会を確立するためには、高齢者の主体的な社会参加を促すための活動基盤整備が必要です
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	4	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	定款に明記されています。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	5	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	5	事業の実施状況が定期的に報告され、収支についても詳細に報告されています。
		■予算の見積が適正である。	5	
5	適格性	■実施体制が明確である。	5	事業目的が、定款に明記されています。 県内、地区内の各センターとの交流も含めて、自主研修や広報活動も積極的に進めております。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	5	
合計点数		48		
総合評価		継続		